

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.2.5 No.370

羽村平和委員会発行



横田基地北東側で工事中の臨時出入口 2月3日ゲートが設置



横田基地北東側で工事中の臨時用出入口に2月3日、左右両開きのゲートが設置されました。

レールの台座と道路との段差をなくし、既存フェンスをなくすと使えるようになります。

これは、CV-22Bオスプレイの部隊が専用的に使用する施設の工事のためのゲートと思われます。現在、工期が明らかになっているのは、飛行場駐機場の建設で、2019年12月から2022年6月の予定です。

横田基地で抜き打ちの演習

横田基地における演習について、防衛省（北関東防衛局）から周辺自治体へ、情報提供があったそうです。

[北関東防衛局からの情報提供内容] (2020年1月30日付け)

横田基地における演習につきまして、横田基地広報部から情報提供がありましたので、以下のとおりお知らせします。

- ・本日(1月30日)午前9時から同基地が襲撃を受けたとの想定で抜き打ちの演習を行った。
- ・PASシステム及び発砲の擬似音を使用。
- ・演習は、午前10時40分に終了しました。

日本平和委員会 結成70周年の集い

2月1日(土)夜、都内で日本平和委員会70周年の集い・レセプションが開催されました。当初から関わってきた畑田重夫さん、今も現役で大活躍の内藤功さんなど、多数参加していました。もちろん若い方もです。写真の右側の方は、国民平和大行進の通し行進者として頑張っている山口逸郎さん。「通し行進8回目に、88才で四国～広島コースを、お遍路平和大行進と称して参加したい。」とメッセージに書いていました。



「横田基地近くの井戸から有害物質」

「多摩の水道で高濃度有害物質 井戸のくみ上げ停止」



2月24日(水)午後2時~4時

羽村市・ゆとろぎ：ゆたかホール

連絡先: 042-547-2880 (受付)

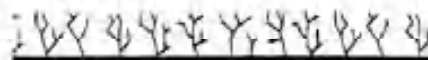
PFOS・PFOA (有機フッ素化合物) の汚染を知る学習会

小泉昭夫先生



主催: 横田基地周辺の水道局を巡る学習会実行委員会

PFOS・PFOAは、有機フッ素化合物の代表として、環境中に残留しやすく、生物蓄積性が高い。また、人体に有害な影響を与えることが知られている。本学習会は、PFOS・PFOAの汚染状況や健康リスクについて、専門家の講話や資料配付を通じて、皆様への理解を深めたい。

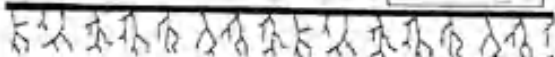


米国 州が厳しい基準

沖縄の米軍基地近くや横田基地近くでも汚染が判明しているビーフォス・ビーフォアですが、国内の基準がありません。

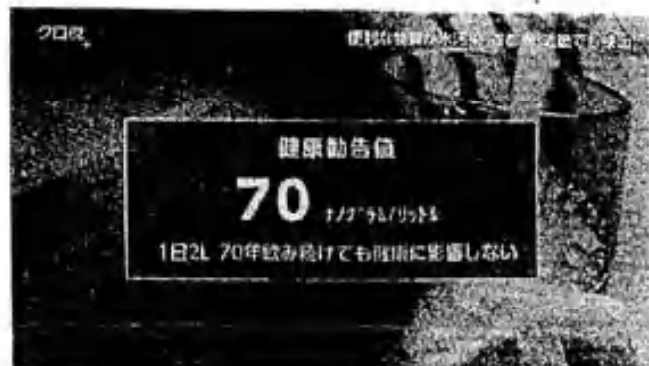
米国環境保護庁は、生涯勧告値1リットル当たり合計70ng(ナノグラム)を目安としています。同勧告値は「1日2リットルを70年にわたって飲んでも健康に影響しない」という基準ですが、米国では近年、規制値が高すぎるとして独自に厳しい飲用水の基準を設定したり、提案されたりしている州もあります。

- 米国の非営利団体「天然資源防護協議会」のまとめによると、基準を設定しているのは、
- ミシガン州 (ビーフォス8ng、ビーフォア9ng)
 - カリフォルニア州 (ビーフォス13ng、ビーフォア14ng)
- 独自の基準が提案されている州は、
- ニューヨーク州 (ビーフォス10ng、ビーフォア10ng)
 - ニュージャージー州 (ビーフォス13ng、ビーフォア14ng)
 - ミネソタ州 (ビーフォス15ng、ビーフォア35ng)
 - バーモント州 (ビーフォスなどを含む5種類の有機フッ素化合物の合計20ng)
- と、どの州も勧告値を大幅に下回っています。



裁判では、6つの病気にかかった3,550人に対して、PFOAによる健康被害を認定。合わせて760億円の和解金が支払われました。

こうした事態を受けて、2016年、アメリカの環境保護庁は、飲料水の健康勧告値を定めました。1リットル当たり70ナノグラム。このレベルの水であれば、1日2リットル70年飲み続けても健康に影響しないとした値です。



この勧告値をもとに、アメリカ各地で調査が行われ、深刻な汚染地が次々と見つかっています。その1つミシガン州ベルモント市。防水加工の靴を作るメーカーが、ここに廃棄物を埋めていました。



PFOAなどの有機フッ素化合物が地下深くにしみ込み、700世帯の飲み水が汚染されていたのです。今、住民をどのようにケアしていくのが大きな課題になっています。



マクノートンさんの一家は、勧告値のおよそ70倍の濃度の水を飲んでいました。今は、靴メーカーによって設置された高性能の浄水器で有害物質を取り除いています。

しかし、汚染された土壌の処理など、それ以上の対策は義務がないとして、企業は拒んでいます。この日、3歳の誕生日を迎えたジャックちゃん。



両親は、長期にわたる健康調査など、さらなる対策を訴えています。ジャックちゃんの血液中の濃度は、アメリカ人の平均の55倍に上っているためです。

マクノートンさんの憂

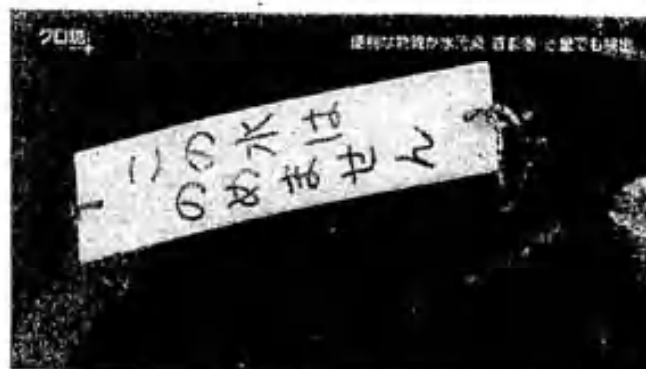
「息子はこんなに小さいのに、体の中にたくさん蓄積している。まだ何も理解していないと思うと、胸がはりさけそうでした。息子が健康で居続けられるのが、それが一番の心配です。」

アメリカで深刻な健康被害をもたらした有機フッ素化合物、PFOAによる水の汚染。日本国内ではどうなのか。20年以上前から、全国の水質調査を続けている、京都大学の小泉昭夫さんの研究グループです。

京都大学 医学研究科 小泉昭夫名誉教授

「2016年に（調査を）したときには、アメリカの（勧告値の）21倍だった。」

参拝した人が誤って飲まないように注意を呼びかけています。



この地域は、基本的に地下水を飲み水に使っていません。しかし、この地区の複数の場所から、地下水の汚染が見つかっています。3年ぶりの調査の結果は、PFOAの濃度は、最大でアメリカの勧告値の125倍を超えていました。

NHK クローズアップ70 現代より
(2018.5.15)